

会議録

審 議 会 名	第4回 杉戸町生涯学習審議会
開 催 日 時	令和8年3月16日（月）午後2時00分～午後3時45分
開 催 場 所	杉戸町役場第二庁舎2階 第1・第2会議室
会 議 の 議 題	(1) 杉戸町生涯学習推進計画（素案）の答申について (2) 令和7年度社会教育関連事業の実施成果及び次年度の展開について ・子ども大学すぎとにおける企業連携（武蔵野銀行）の展開について ・すぎと町民大学の学習形態・発表方法の充実に向けた取組について (3) その他
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 （公開の場合傍聴者数 1人）
	（非公開の場合理由）
出 席 者 氏 名	【出席委員】 小山裕之、五十嵐貴博、高瀬信子、浅井宰、齊田壮市、大塚信英、 寺田竹雄、青木光一、稲田惇一、伊藤馨、岩本明美 【欠席委員】 田口剛、大塚国夫、根本伸、齋藤伸夫

審議の概要
議題（1）杉戸町生涯学習推進計画（素案）の答申について 審議会長より答申書を読み上げ、事務局が受領した。 【意見・質疑等】 （委 員）素案46ページ「（2）評価と見直し」について、5年目での見直しは予定している ようだが、10年目（最終）の総括についても行う事を明記すべきでは。 （事務局）追記について検討する。 （委 員）定期的な評価は行うという認識で良いか。 （事務局）K P I や進捗の評価については毎年実施し、審議会へ報告する予定である。 議題（2）令和7年度社会教育関連事業の実施成果及び次年度の展開について ・子ども大学すぎとにおける企業連携（武蔵野銀行）の展開について ・すぎと町民大学の学習形態・発表方法の充実に向けた取組について 資料2に基づき事務局より説明。

○子ども大学について

(委員意見) お金についての講座が増えたのは「自分の大事なお金」という意識を持てるのが良いと思う。

(委員意見) 「ねらい」に記載の「郷土愛」は大切だと思う。若者が町に戻ってくることは杉戸にとって大きな力になる。杉戸町に帰ってきたいと思える郷土愛を育めるよう取り組んで欲しい。

○町民大学について

(委員意見) 個人的意見ではあるが、今までの町民大学運営が悪かったわけではないと思うので、今までと同じ内容も若干は残して欲しいと考える。

(委員) 地域のリーダー育成を目的とするとのことだが、受講生の年齢は何歳くらいを想定しているのか。

(事務局) 要綱上、対象者は18歳以上としているが、現状は60代から70代の人が多い。

(委員意見) リーダーは若いうちから育てた方が良いと考える。生涯学習だけでなく様々な分野で協力して「子どもたちが帰ってきたい町」にすることで若いリーダーも育つのでは。

(委員意見) 「町を知るフェーズ」について、行政・議会・防災といった各分野を想定しているようだが、自然・福祉・子育てなどの分野を入れても良いのでは。

議題(3) その他

(委員意見) 子育て中の方は、家庭のこと・学校のことなどで忙しく、町のことにまで行動できない人が多くいると思う。そのような人にも興味を持ってもらえるよう、町から色々発信をしていただき、少しでも繋がりを作っていただきたい。

(委員) 生涯学習推進計画を策定することで、計画に掲げられた各種事業に予算が付くことになるのか。

(事務局) 計画に掲げたことにより予算が付くということではなく、記載されている個々の事業には既に予算が付いているものもあるし、付いていないものもある。

(委員) 最近の子どもたちは習い事や家庭の用事で忙しくなっている。そのため、単発で参加できる講義があっても良いのではないかと考える。町民大学についても同じことが言えると思う。

(事務局) 町民大学については、単発講座に近い「公開講座」を年1回開催し、町民大学の学生でない人も自由に参加できるように運営している。

(委 員) 一般の住民に、町が実施する事業のことがよく伝わっていないと思う。前々から課題として挙がっていることだと思うが、PRの方法を考えて欲しい。

(事務局) 広報については「高齢者向けの紙媒体」「一般向けのホームページ」「若者向けのSNS」という三本柱で実施していくことが大切と考えている。